

(令 8 法後)

# 小 論 文

- ・問題は 1 ～ 17 ページである。
- ・下書き用紙は中に 2 枚入っている。

**注意** 解答は答案用紙に横書きで記入しなさい。

小論文 250 点

## 問題文

以下の資料を読み、問1と問2に答えなさい。

問1 末尾の波線部でまとめられている著者の考えを700字以内で説明しなさい。

(配点150点)

問2 あなたが紛争と考える事例を一つ取り上げ、その解決に向けた課題を、資料で展開されている著者の議論を踏まえて300字以内で記述しなさい。なお、ここで取り上げる紛争事例は、国家間のものから身近な地域社会や組織内のものまで、また、現在のものから過去のものまで、自由に選択してかまわない。

(配点100点)

なお、資料中の見出しの一部を省略したほか、必要と思われる箇所には注の付記、表記の変更を行った。下線部は注を付記した箇所を表す。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

(出典：桑子敏雄『風景の中の環境哲学』(東京大学出版会，2005年))

〔注〕

- ・相貌：物事の様子。
- ・デカルトの第一原理：「我思う、ゆえに我あり」。デカルトは、あらゆることを懐疑したあげく、意識の内容は疑いえても、意識する私の存在は疑いえないという結論に到達し、これを第一原理とし、確実な認識の出発点とした。
- ・自我：認識・感情・意志・行為の主体としての私を外界の対象や他人と区別して言う語。
- ・パトス：苦しみ・受難、また感情・激情などの意。恒常的ではない代わりに、一瞬のうちに何かを生み出す契機となる。
- ・ソフィスト：紀元前5世紀頃、主としてアテナイで法廷弁論・修辞学などを教えることを職業とした人々。価値の相対性を説いた。
- ・性行：日常の性質とおこない。
- ・イデア：プラトン哲学の中心概念で、理性によってのみ認識されうる実在。感覚的世界の個物の本質・原型。また、価値判断の基準となる、永遠不変の価値。
- ・ファシリテーション：話し合いを円滑に進めるための技法。